

# 議会だより

遊Viva  
美浜

大人ってタノシイ！  
美浜ってオモシロイ！！

いい にく

表紙：秋山 かおり（雲谷）

## Contents

- |                                 |                                               |
|---------------------------------|-----------------------------------------------|
| ● がんばる美浜びとインタビュー ..... 2        | ● 議会と語ろう会 ..... 10～11                         |
| ● 現地視察／総務文教常任委員会視察研修 ..... 3    | ● 美浜・高島広域避難・連携道路早期実現期成同盟会<br>総会・中央要請 ..... 12 |
| ● 令和6年度決算報告 ..... 4～5           | ● 一般質問 ..... 13～15                            |
| ● 令和7年度9月補正予算 ..... 6           | ● つばたレガッタ／美浜中体育祭／編集後記 ..... 16                |
| ● 常任委員会の動き ..... 7～8            |                                               |
| ● 9月定例会議案一覧／議案賛否／討論概要 ..... 8～9 |                                               |

## がんばる美浜びと

遊びを通じての  
地域交流

民泊した子どもたちが書いた色紙

## 議会の課題

- ・空き家の活用
- ・遊び場の環境整備



地元の子どもたちと

あそびば  
遊 Viva 美浜の室内

Q: 自宅があるにも関わらず空き家を購入した理由は何ですか？

A: 空き家購入前に有志が集まって「遊 Viva 美浜」というグループで活動していて、大きな機材が増えてきて、拠点がほしいな〜と漠然と考えていたときに、タイミングよく見つけた感じでした。現在、町内でどのような活動をされていますか？

A: 「遊 Viva 美浜」で大人も子どももごちゃまぜ文化祭と称し、イベントをしています。キッチンカーでの売上金をこの活動の運営費用に充てています。・教育旅行の民泊家庭のフォロ―及び受入

・原子力平和利用協議会「美浜町の子供たちの活動の応援」  
「発表や交流会への参加」「なびあす講座で料理教室」など

Q: 民泊を始めた理由は何ですか？

A: 民泊の活動をされている林さんを紹介されて、受入というよりは受入家庭のフォロ―のスタッフとして声をかけていただいた（笑）

Q: 民泊を始めて良かった点、大変な点がありますか？

A: 受入れ家庭に声をかけて参加してくださった方達が「すごく良かった！」と続けて、くれたり、私自身も受入したことにより美浜町の良いところを子どもたちと感ずることができました。

Q: キッチンカーを始めた理由は何ですか？

A: 本当にたまたまです。広報みは

まで「遊 Viva 美浜」の事業のための「がんばる美浜人応援事業」の募集要項を確認したときに同じ並びにキッチンカーの助成金募集を見つけて、次年度からの事業活動を行うための資金作りに使えるかなと軽い気持ちで役場に聞きにいったら、トントン拍子に購入することになりました（笑）。

Q: キッチンカーを始めて良かった点、大変な点がありますか？

A: 「遊 Viva 美浜」の活動の運営費用を自助努力で賄う事ができるようになったこと。始めてから3年は美浜町の「がんばる美浜人応援事業」の助成金で活動していましたが、3年経ったあととも継続して事業を行う方法を探していたので良かったです。大変なことは、あまりありませんが、夏と冬の暑さ寒さ対策です。

Q: 将来の夢は何ですか？

A: やりたいことを残していないので夢というものは特にありませんが、10年後退職したあとに河原市に購入した物件で飲食店を始める予定です。目的は「防ごう孤独死」いつまでも人と笑いながら関わっていられればと思っています。

Q: 美浜町はどんな町になってほしいですか？

A: 今でも素晴らしい町だと思いますが、よりバリアフリーな町、誰にとっても住みやすく育てやす町であってほしいと思います。



## 現地視察

9月16日、令和7年1月から町が直営で運営をしている美浜町レイクセンターを視察しました。はじめに美浜町をよく知るガイドさんの説明を聞きながら、約50分の基本コースを体験しました。その後、役場の観光誘客課より運営状況についての説明を聞きました。説明によると乗船者数はイベントやSNS等を使った宣伝により、昨年度に比



べて増えているとのことでしたが、休日比べて平日は少ないという課題もあります。今後、その課題が解決できるかが成功への鍵になるので、これまでの経験を活かし、職員一同、頑張っていきたいと思います。議会としてもしっかりと監視をしながらできることは協力してたくさんの方が来てくれると嬉しいです。

## 富山県南砺市 視察



8月29日、総務文教常任委員会の所管事務調査の一環として「人口減少の抑制施策」と「人口減少社会への対応施策」を学ぶため、先進地の富山県南砺市を訪問し「南砺で暮らしません課」と「こども課」の職員から下記の説明を受けました。

- ①結婚活動支援事業
- ②ジェンダーギャップの解消について
- ③移住定住事業
- ④なんと未来創造塾

- ⑤子育て支援事業
- ⑥南砺市こどもの権利条例

「誰ひとり取り残さない一流の田舎」を目指し、「子ども・若者・女性を尊重し、それをみんなで支える寛容な社会」を念頭に、まちぐるみでの多彩で地道な取り組みと優れた仕組みに、参加者一同目から鱗が落ちる思いがしました。今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。(詳細はQRコードからご覧ください)



## 防災

### ▶ 防災セット配布事業

・3650セット **6083**万円

▶ 敦賀美方消防組合負担金等 **3億1332**万円

▶ 河川水位計設置事業 **750**万円

▶ 災害時対応力強化事業 **363**万円

・美浜中学校体育館（指定避難所）にエアコン設置に向けた実施設計業務

## 高齢者

### ▶ 後期高齢者医療

#### 広域連合負担金

**1億7164**万円

▶ 長寿健康診査事業 **671**万円

・集団検診受診 442人 個別健診受診 30人

▶ 緊急通報体制等整備事業 **155**万円

▶ 老人クラブ活動等社会活動促進事業 **338**万円

## 産業育成

### ▶ 未来に繋ぐふくい の農業応援事業

**1591**万円

▶ 地域担い手づくり整備事業 **3000**万円

▶ 新規就農支援事業 **1163**万円

▶ いきいき農業サポートプラン推進事業 **627**万円

▶ 多面的機能支払交付金事業 **5347**万円

▶ 松くい虫被害総合対策事業 **425**万円

▶ わかさ美浜町森づくり推進事業 **1529**万円

▶ 浅海増殖事業 **120**万円

▶ 内水面漁業振興事業 **1179**万円

## 交通

### ▶ 公共交通運行事業

・利用者16093人 **5176**万円

▶ 路線バス運行維持事業 **2766**万円

▶ 公共交通機関利用促進事業 **516**万円

▶ 道路維持事業 **1億935**万円

・町道維持補修工事 他61件

## 福祉

### ▶ 健康診査事業 **2051**万円

・がん検診（胃がん809人、肺がん1251人、大腸がん1469人、乳がん516人、子宮がん488人）

▶ 福祉支援センターあいばる管理運営事業 **1201**万円

▶ 障害者介護給付事業 **1億9107**万円

▶ 障害者訓練等給付事業 **1億2320**万円

▶ 魚礁機能回復事業 **100**万円

▶ 発酵熟成ブランド推進事業 **732**万円

▶ 企業誘致助成事業 **5195**万円

▶ キッチンカー等導入支援事業 **100**万円

▶ はあとふる体験推進事業 **680**万円

▶ 若狭美浜観光PR事業 **2580**万円

▶ 観光センター管理事業 **609**万円

▶ 民宿等活性化事業 **6260**万円

▶ 三方五湖ゾーン活性化事業 **3836**万円

▶ レイクセンター運営事業 **1747**万円

町民1人あたりに使ったお金は  
**135万4773**円です

● 総務費…地域振興や一般事務  
**46万3146**円（歳出に占める割合は34.2%）

● 民生費…各種福祉事業  
**19万3678**円（歳出に占める割合は14.3%）

● 衛生費…健康管理やごみ処理  
**21万6550**円（歳出に占める割合は16.0%）

● 農林水産業費…農業・林業・漁業  
**6万4993**円（歳出に占める割合は4.8%）

● 商工費…観光や商工業振興  
**4万7604**円（歳出に占める割合は3.5%）

● 土木費…道路やまちづくり  
**9万9285**円（歳出に占める割合は7.3%）

● 教育費…学校教育や社会教育  
**12万9373**円（歳出に占める割合は9.5%）

● 消防費…消防施設や消防団  
**5万1855**円（歳出に占める割合は3.8%）

● 公債費…町の負債の返済  
**7万2119**円（歳出に占める割合は5.3%）

● その他…議会費や労働費など  
**1万6170**円（歳出に占める割合は1.2%）

（令和7年8月1日現在 8553人で算出）

## 美浜町の財政状況は健全です

財政力指数 **1.080**

1に近いほど財政に余裕がある

| R3    | R4    | R5    |
|-------|-------|-------|
| 0.797 | 0.905 | 1.044 |

経常収支比率 **74.7%**

財政構造の弾力性を示す

| R3   | R4   | R5   |
|------|------|------|
| 78.1 | 76.0 | 73.6 |

実質公債費比率 **10.4%**

公債費に充当された一般財政の割合

| R3  | R4  | R5  |
|-----|-----|-----|
| 8.3 | 7.6 | 8.4 |

将来負担比率 **35.5%**

一般会計が将来負担する実質的な負債割合

| R3   | R4   | R5   |
|------|------|------|
| 65.6 | 66.7 | 53.3 |

## 令和6年度一般会計決算

歳入総額 **122億9906万6千円**

歳出総額 **115億8808万3千円**

歳入歳出差引額 **7億1098万3千円**

翌年度へ繰り越すべき財源 **3121万4千円**

実質収支 **6億7976万9千円**

### 町の財政状況▶

本年度の歳入決算額は5773万円の減収となりました。これは庁舎及び保健福祉センター防災強化事業が完了したことにより、事業に充当していた諸収入が減収したことが主な要因です。

町税の収入済額は53億9613万4千円で前年度に比べ5827万4千円の増収となりました。これは町内企業の業績良化により、法人町民税が5億580万2千円増加したことが主な要因です。

(単位:千円)

### 特別会計▶ 企業会計▶



| 特別会計名          | 歳入総額      | 歳出総額      |
|----------------|-----------|-----------|
| 診療所事業          | 110,343   | 110,343   |
| 国民健康保険事業       | 1,102,471 | 1,018,452 |
| 後期高齢者医療事業      | 166,038   | 161,672   |
| 介護保険(介護保険事業)   | 1,255,325 | 1,054,859 |
| 介護保険(介護サービス事業) | 5,835     | 5,835     |
| 簡易水道事業         | 301,512   | 297,754   |
| 産業団地事業         | 8,656     | 3,788     |

| 特別会計名    | 歳入総額    | 歳出総額    |
|----------|---------|---------|
| 住宅団地事業   | 147,139 | 53,178  |
| 道路用地取得事業 | 145,297 | 145,297 |

| 企業会計名 | 収入額                            | 支出額                |
|-------|--------------------------------|--------------------|
| 上水道事業 | 収益的収支 168,410<br>資本的収支 482,224 | 169,406<br>544,906 |
| 下水道事業 | 収益的収支 771,509<br>資本的収支 432,614 | 606,612<br>721,068 |

## 決算報告

生活に直結した令和6年度の決算配分

### こども・子育て・教育

#### ▶「輝く未来へ」新入学等応援事業 **867万円**

入学・卒業に伴う保護者の経済的負担を軽減するため、町内小中学校の新入学予定者に制服を支給し、中学3年生の保護者へは応援給付金を給付

- ・小学校入学予定者 54人 中学校入学予定者 53人
- ・中学3年生の保護者 73人 (1人7万円)

#### ▶子ども医療費助成事業 **3312万円**

18才までの子どもにかかった医療費全額助成

- ・対象者1171人 給付件数16774件

#### ▶すみずみ子育てサポート事業 **894万円**

家庭で一時的に育児できない場合、一時預かり等を実施

- ・利用実績 延べ人数2637人
- 利用時間 14557時間

#### ▶児童手当支給事業 **1億2896万円**

- ・支給対象児童 1012人

#### ▶放課後児童クラブ事業 **2268万円**

- ・受け入れ状況(通年) 西小30人 中央小42人 東小24人

#### ▶わくわくキッズプログラム事業 **135万円**

保育園と小学校の切れ目ない連携に配慮

#### ▶出産・子育て応援交付金給付事業 **742万円**

- ・母子手帳交付時 (5万円) 74人
- ・出産届時 (5万円) 59人

#### ▶美浜中学開校50周年記念事業 **458万円**

#### ▶学校ICT教育推進事業 **2265万円**

#### ▶小学校英語活動推進事業 **987万円**

#### ▶保育園維持管理事業 **1億6263万円**

#### ▶給食センター管理運営事業 **9772万円**

#### ▶給食センター施設設備等更新事業 **4249万円**

#### ▶なびあす文化事業 **2121万円**

#### ▶子ども・子育てサポートセンター運営事業 **890万円**

#### ▶みはまシナプスプロジェクト事業 **5426万円**

#### (にぎわい交流センター建設工事) **8586万円**

## 一般会計 歳出予算の内訳

(単位:千円)

|       | 補正前の額     | 9月補正予算  | 計(補正後予算額) |
|-------|-----------|---------|-----------|
| 総務費   | 1,798,568 | 480,358 | 2,278,926 |
| 民生費   | 2,188,692 | 120,038 | 2,200,730 |
| 衛生費   | 1,361,332 | 8,334   | 1,369,666 |
| 農林水産費 | 458,462   | 33,859  | 492,321   |
| 商工費   | 368,571   | 921,679 | 1,290,250 |
| 土木費   | 789,354   | 206,867 | 996,221   |
| 教育費   | 1,304,364 | 15,447  | 1,319,811 |

# 令和7年度 一般会計

## 9月補正予算

# 16億7858万2千円

【補正後】 112億3797万1千円 (前年比114.9%)

【参考】 前年同期補正額 6億2629万3千円

補正後の予算総額 97億8140万5千円

### ●部活動地域推進事業 469万3千円

#### 中学校部活動指導者サポート

◎今まで学校の教員が実質的に無償で担ってきた部活動を、地域のクラブ団体が主体となって活動する「地域クラブ活動」に移行を目指す

【予定団体】 美浜ジュニアローイングクラブ 他4団体

【内容】 コーチ謝礼、保険、ユニフォーム代等

### ●宿と旅人をつなぐ交通支援事業 126万円

◎小規模宿泊事業者を対象に、宿泊客のタクシー費用又は事業者の送迎費用の一部を支援

#### 支援内容・金額

#### ①宿泊客が宿泊施設へ移動するタクシー費用

|                         |             |
|-------------------------|-------------|
| 敦賀駅～東エリア (丹生・竹波・菅浜)     | 3000円       |
| 敦賀駅～西エリア (松原・久々子・早瀬・日向) | 3500円～4000円 |
| 美浜駅～東エリア (丹生・竹波・菅浜)     | 2000円～3000円 |
| 美浜駅～西エリア (松原・久々子・早瀬・日向) | 300円～1200円  |

#### ②宿泊事業者が宿泊客を自ら送迎する交通費(ガソリン代等)

|                         |       |
|-------------------------|-------|
| 敦賀駅～東エリア (丹生・竹波・菅浜)     | 1000円 |
| 敦賀駅～西エリア (松原・久々子・早瀬・日向) | 1000円 |
| 美浜駅～東エリア (丹生・竹波・菅浜)     | 1000円 |
| 美浜駅～西エリア (松原・久々子・早瀬・日向) | 500円  |

### ●団体旅行受入事業者 育成事業 899万1千円



◎旅行会社が企画する団体旅行の食事提供を行う町内飲食事業者等に対し、エージェント手数料の一部を支援

### ●こどものあそび場づくり事業 620万4千円

### ●除雪対策費 9613万6千円

### ●海岸漂着物撤去処分事業 833万4千円

### 次世代型植物工場(若狭美浜インター産業団地)

#### ●企業誘致助成事業 2億円

#### ●植物工場立地促進事業

6億9439万8千円



#### (株) 椿本チエイン 美浜工場

【事業内容】 レタスなど葉物野菜を主とした人工光による植物栽培・出荷、及び自動化・省力化機器、栽培などのアグリ関連技術の開発

【生産規模】 レタス類を1日2.2t生産予定

◎ (株) 椿本チエインがこれまでに培った機械装置技術を活かした、自社製の自動化・省力化機器と生産管理システムにより働きやすい労働環境を整備

### ●コウノトリが舞う郷 文化財保護一般経費 245万7千円

～美しい田園風景を作り出すコウノトリの郷を目指す～

- ・営巣に適した人工巣塔1基を設置
- ・コウノトリが繁殖しやすい環境づくり(ビオトープ等)
- ・子どもたちが生態観察できる環境づくり

### ●美浜町ふるさと納税推進事業 5782万3千円

### ●みはまシナプスプロジェクト事業 1281万4千円

### ●道路維持事業 5066万1千円

### ●住宅団地整備事業 2000万円

### ●財政調整基金積立金 3億4000万円

# 常任委員会の動き

9月定例会では、予算決算常任委員会に議案16件、総務文教常任委員会に議案5件の計21件が各委員会に付託され、それぞれの委員会で審議し、委員会採択を行いました。なお、今回は産業厚生常任委員会への付託議案はありませんでした。委員会での主な質疑と答弁を記載しました。詳細は議会ホームページでご覧になれます。

<http://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>

QRコードからもご覧になれます。



## 予算決算常任委員会

付託議案16件

### 議案第48号

令和6年度美浜町一般会計

歳入歳出決算の認定について

#### 〈決算の概要〉

**問** 歳入合計122億9906万6千円に占める原子力関係の割合はどうか。

**回答** 最終52.67%になった。当初予算時は61.5%の見込みであった。

た。

**問** 令和5年度に比して、法人町民税が5億580万2千円増加しているがその要因は何か。

**回答** 昨年度、北前船日本遺産の認定をいただいた。これからは日本遺産を活用していくことが必要なため、体制を整え、先進地視察や研修を行い、基本構想をつくる必要があると考えており、令和7年度ではその費用を計上している。

#### 〈土木費〉

**問** 老朽危険家屋等対策事業349万円であるが、これは空家2軒と倉庫・蔵等1軒の解体費用に過ぎないが、町内には老朽危険家屋がどの程度あるのか。

度あるのか。

**回答** 現在、特定空家または準特定空家に指定されている建物は37軒ある。

#### 〈教育費〉

**問** 東地区プール管理事業147万円であるが、中学校のプールを含めて今夏は気温35℃以上になると閉鎖ということ、ほとんどの日が使用できなかった。35℃以上でもプールが使える方法はないのか。

**回答** 今年は各プール10日間ほど開放を予定していたが、3日間程度しか開放できなかった。現在は7月末からお盆前までを開放期間としているが、開放時期をずらすことや、他市町のように夕方の時間帯に開放するなど、運営方法の工夫について検討が必要と考えている。

### 議案第57号

令和6年度美浜町上水道事業会計決算の認定について

**問** 令和5年度に比べて、令和6年度の年間配水量が約16%増加しているのに対して、年間給水は約1%減少している理由は何か。

**回答** 令和6年度は町内で漏水が多かった。調査と対策を行い、現時点ではバランスは保たれているが全ては把握できておらず、継続して対応していく。

### 議案第59号

令和7年度美浜町一般会計補正予算(第2号)

#### 〈総務費〉

**問** 美浜町役場包括業務委託料1064万4千円であるが、内容は何か。

**回答** 病気休暇、退職等により緊急的に職員が不足した場合、業務の振り分けや会計年度任用職員の採用等では対処できない場合に、派遣会社で役場の業務を委託する下期分の費用であり、すでに住民環境課、税務課及び土木建築課において主に窓口業務を担当して頂いている。

〈教育費〉

**問** 部活動地域移行推進事業469万3千円であるが、その中に委託料458万6千円が計上されているが、その予算で何団体に委託するのか。

**回答** 5団体ほどを計画しており、10月以降の半年分として計上している。国や県の補助基準に基づき算定している。

総務文教常任委員会

付託議案5件

議案第64号

美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** ビラとポスターの作成に係る、公費負担の限度額と限度枚数はどうなるか。

**回答** ビラは、7円73銭から8円38銭になり、枚数は2種以内で計1,600枚である。ポスターは、541円31銭から586円88銭になり、枚数は、掲示場の数56枚である。

議案第65号

美浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 改正理由に「住登外者（※）宛番号管理機能の追加」とあるが、どんな内容か。

**回答** 各市町が個々に使用している各種システムを、全国で統一した標準準拠システムに移行するが、住登外者についても宛名登録管理を行う機能が追加され、個人番号情報を使用するので、当該条例を改正する。

※住登外者：他の市町に住んでいた、住民登録していないが、当町の行政サービスを受けている人。

議案第68号

美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 所得控除として特定親族特別控除が新設されたが、どんな制度か。

**回答** 現行、19歳以上23歳未満の親族で、合計所得が58万円以下の場合、特定扶養控除があるが、同年齢で58万円を超え123万円以下の扶養親族に特定親族特別控除が新設された。

令和7年 第4回 美浜町議会定例会 議案

令和7年第4回美浜町議会定例会期間：令和7年9月2日～9月25日

| 議案番号   | 件 名                                                                                              | 委員会付託 | 議決結果 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 議案第48号 | 令和6年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 122億9906万6241円 歳出総額 115億8808万2727円                             | 予算決算  | 可決   |
| 議案第49号 | 令和6年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 1億1034万3千円 歳出総額 1億1034万3千円                                |       | 可決   |
| 議案第50号 | 令和6年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 11億247万1千円 歳出総額 10億1845万2千円                            |       | 可決   |
| 議案第51号 | 令和6年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 1億6603万8千円 歳出総額 1億6167万2千円                            |       | 可決   |
| 議案第52号 | 令和6年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 12億5532万5千円 歳出総額 10億5485万9千円                             |       | 可決   |
| 議案第53号 | 令和6年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 3億151万2千円 歳出総額 2億9775万4千円                                |       | 可決   |
| 議案第54号 | 令和6年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 865万6千円 歳出総額 378万8千円                                     |       | 可決   |
| 議案第55号 | 令和6年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 1億4713万9千円 歳出総額 5317万8千円                                 |       | 可決   |
| 議案第56号 | 令和6年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について<br>歳入総額 1億4529万7千円 歳出総額 1億4529万7千円                             |       | 可決   |
| 議案第57号 | 令和6年度美浜町上水道事業会計決算の認定について<br>収益的収入 1億6841万円 収益的支出 1億6940万6千円<br>資本的収入 4億8222万4千円 資本的支出 5億4490万6千円 |       | 可決   |

| 議案番号   | 件名                                                                                                               | 委員会付託 | 議決結果 |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|
| 議案第58号 | 令和6年度美浜町下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について<br>収益的収入7億7150万9千円 収益的支出6億661万2千円<br>資本的収入4億3261万4千円 資本的支出7億2106万8千円            | 予算決算  | 可決   |
| 議案第59号 | 令和7年度美浜町一般会計補正予算（第2号）<br>16億7858万2千円増額し、歳入歳出予算総額を112億3797万1千円とする。                                                |       | 可決   |
| 議案第60号 | 令和7年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）<br>1190万4千円増額し、歳入歳出予算総額を11億3390万3千円とする。                                            |       | 可決   |
| 議案第61号 | 令和7年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）<br>512万1千円増額し、歳入歳出予算総額を1億7059万4千円とする。                                             |       | 可決   |
| 議案第62号 | 令和7年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）<br>4905万9千円増額し、歳入歳出予算総額を11億7202万4千円とする。                                              |       | 可決   |
| 議案第63号 | 令和7年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第1号）<br>2000万円増額し、歳入歳出予算総額を3803万円とする。                                                     |       | 可決   |
| 議案第64号 | 美浜町議会議員及び美浜町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について<br>公職選挙法施行令の一部改正による選挙運動用ビラとポスターの作成に係る公費負担の限度額の引き上げに伴う関係規定の改正。 | 総務文教  | 可決   |
| 議案第65号 | 美浜町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について<br>地方公共団体情報システムの標準準拠システムへの移行に伴う関係規定の改正。   |       | 可決   |
| 議案第66号 | 美浜町印鑑条例及び美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について<br>電気通信事業法の改正により生じた条項ずれに伴う関係規定の改正。                                            |       | 可決   |
| 議案第67号 | 美浜町職員の育児休業等に関する条例及び美浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について<br>地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律等の施行に伴う関係規定の改正。           |       | 可決   |
| 議案第68号 | 美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について<br>地方税法等の一部改正に伴う公示送達、町民税、たばこ税の関係規定の改正。                                                   |       | 可決   |
| 議案第69号 | 財産の取得について（令和7年度美浜町小中学校学習用端末購入）<br>美浜町立小中学校学習用タブレット端末の更新（603台）。                                                   | —     | 可決   |
| 発議第1号  | 北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書<br>国に対する「北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書」の提出。                                                            | —     | 可決   |

※略称 ＜予算決算＞…予算決算常任委員会 ＜総務文教＞…総務文教常任委員会

## 賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成・×反対・一欠席・□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。  
※議長（川畑忠之）は採決に加わりません。

| 議案番号   | 幸丈 | 兼田 | 中牟田 | 上道 | 高橋 | 梅津 | 河本 | 辻井 | 松下 | 崎元 | 山口 | 藤本 | 竹仲 |
|--------|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 議案第48号 | ○  | ○  | ○   | ×  | ×  | ○  | ×  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  |
| 議案第59号 | ○  | ○  | ○   | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  |

討論概要

1. 議案第48号  
令和6年度美浜町一般会計  
歳入歳出決算の認定について

● 反対討論  
9億円以上の積み立て基金の増加や実質収支が6億7976万9千円もあるということは、「住民福祉の向上」や「人材の確保」に充てるべき予算を、効果的に配分できていない。  
財政力指数や経常収支比率の値を見ても、財政状況には余裕がある。余るお金を貯め込んだり、ハコモノ重視の政策に使うのではなく、町政に求められるのは「町民ファーストの福祉政策」、町民への行政サービスをいかに充実させるかという政策である。  
町民から求められているのは、町外の事業者や町外の観光客に手厚い政策ではなく、町民ファーストの行政サービスを充実させることである。  
また、個別事業については、「エネルギー環境教育体験館『さいばす』の運営事業」、「健康楽膳拠点施設『こるば』の運営事業」、「美浜町レイクセンター、電池推進遊覧船に係る事業」、「道の駅に係る事業」に反対している。  
本決算については、そもそも予算の執行を認めていない事業が多くあるので認めることはできない。

（河本議員）

# ・介護医療 の課題

## 女性と語る

フリー・ギャップ」も学ぶ。



7月26日（土）13時30分から、美浜町保健福祉センター「はあとぴあ」のホールにおいて、今年度の「議会と語ろう会」を開催しました。今回はいつもと趣向を変えて女性だけに的を絞って議会側は、全員で対応しました。第1部は講演会とし、第2部で意見交換を行い日頃の思いや疑問点をお聞きしました。



### 第1部

講演テーマを「女性労働問題、人口減少、地域の関わり」とし、富山大学経済学部教授の中村真由美先生をお迎えし、地域における女性の問題と社会との関わりについて講演して頂きました。先生は米国シカゴ大学大学院博士後期課程を修了し、専門は家族社会学、労働社会学で、テレビではコメントーターも務めておられます。

労働面から見る女性の就労や流出の要因を解き、福井県における女性の就労特徴、全国調査に見る北陸の傾向、女性の役職、ジェンダーギャップ等の課題と解決策などについて講演していただきました。

### 第2部

今年4月に開催した美浜町婦人福祉協議会との意見交換で「美浜町におけるジェンダー平等の実情及び地域のしきたりと暮らしやすさ」についての話し合いを持ったこともあり、今回は女性に的を絞った「議会と語ろう会」を行うことになりました。

当日は、町内の女性団体やチラシを見た一般女性の方が来場者となりました。今回は、女性だけに的を絞って、第1部の講演テーマに沿った女性としての問題や、美浜の将来の町づくりに対しての質問等が行われました。女性ならではの多様な質問もあり、相互理解を深める事ができました。

今回の意見交換での主なものを記載します。

### 問

町の職員募集を頻繁に見るようになったが、途中退職や休職する方が多いと感じます。

### 答

議会として、退職者や休職者が多いということについては課題を共有し、行政に対策を求めてきました。これは全国的な傾向で、公務員削減による財政健全化の世論による国の施策にも要因があり、業務量と給与のバランスが合わなくなり、職業としての魅力が低下していると言われます。全てにおいて、より良い職場環境の整備が必要と思われます。





**問**

敦賀市でパワハラの問題  
がありました。美浜町  
では対策は行われているの  
でしょうか。

**答**

ハラスメントにより精神  
を病んだり、死を選択し  
てしまうケースがあります。ハ  
ラスメントによる退職、休職者  
が増加するのは、魅力的な職  
業、より良い職場環境をつくる  
ということとは真逆です。組織

としてハラスメントは絶対に許  
してはいけない事象なので、こ  
れまで各議員がパワハラやセク  
ハラなどのハラスメント対策を  
行政側に求めてきました。より  
良い職場環境をつくるにはハラ  
スメント対策をしっかり行う必  
要があると議会は考えていま  
す。そういったハラスメントな  
どの事象があるときには、労働  
基準監督署や相談窓口、私たち  
議員など、一人で悩まず誰かに  
相談することで解決への道が開  
かれることになるので、一人で  
悩まず相談していただきたいと  
思います。

**問**

美浜町には運動公園があ  
りますが、雨の日でも遊  
べる施設をつくって欲しいと思  
います。

**答**

現在、丹生にある美浜町  
エネルギー環境体験館  
「ぎいばす」の敷地内にある体  
育館を改修して、雨の日でも遊  
べる全天候型のデジタル遊具の  
整備計画を進めています。

**問**

放課後児童クラブに子ど  
もを預けたいが、様々な  
条件があり、預ける事が、でき  
ないので仕事ができません。祖

父母がいても希望者が利用でき  
るようにして欲しい。

**答**

議会としては、祖父母が  
いる夫婦共働き世帯でも  
1年生から6年生までの児童を  
受け入れて欲しいと考えていま  
す。しかし、これを実現させる  
には支援員などの人材不足や施  
設のスペース、定員などの課題  
を解決しなければなりません。  
行政も若干の条件緩和を行い、  
祖父母が75歳以上の高齢者の場  
合は規制対象から外しました。

**問**

介護は、女性の力がすご  
く必要になると聞いていま  
す。子育てと介護の問題で大変  
なのに、人口減少が進んで女性  
がなくなると介護士さんが不  
足し、地域の介護力が低下しま  
す。医療・福祉の人材不足も問  
題で、担い手の育成が心配です。

**答**

子育てや仕事をしながら、  
自宅で介護をするの  
は大変です。施設入所も美浜町  
では限られた場所しかないの

で、シェアハウス等の方法も含  
めて検討する必要があると思  
います。

また、医療福祉施設が充実さ  
れることで女性の働く場が増  
え、女性の人材を美浜町に呼び  
込むことができますし、担い手  
の育成にも繋がると思います。  
議会としてもこういう観点で政  
策提案に繋がっていききたいと思  
います。



美浜・高島広域避難・連携道路早期実現期成同盟会  
総会・高島市議会訪問・中央要請

# 美浜・高島間道路の早期実現を！

8月19日午前10時から役場3階の正庁において、今年度の「美浜・高島広域避難・連携道路早期実現期成同盟会」の総会が行われました。この道路は、今年8月に開催された福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に則する「共創会議」で調査、概略・予備設計を実施するという大きな方向性が示されました。

原子力災害や自然災害時の避難道路だけでなく、美浜町と高島市の交流・物流・観光道路としても位置付け、お互いの将来の発展には必要不可欠な道路であります。

総会では、令和6年度の事業報告と決算報告、更に今年度の事業計画が協議されました。提出議案は全会一致で承認され、最後は力強いガンバローで締めくくりました。

議会でもこの活動を行う特別委員会と議長・副議長の8名で、今年度の4月に高島市議会を訪問し、今後のお互いの交流について意見交換を行いました。

また、8月26日と27日には、原子力政策と美浜・高島間道路の早期実現も含め文部科学省・経済産業省 資源エネルギー庁・内閣府、更に地元出身の国会議員へ、町長と共に国への中央要請を行いました。一日も早い道路開通を願います。



美浜・高島広域避難・連携道路早期実現期成同盟会総会ガンバロー



美浜・高島間道路地図



高島市議会との意見交換会



中央要請

# 町政を問う！一般質問



なかむた はるこ 議員  
中牟田 春子

## ① 放課後児童クラブについて

### 問

「児童クラブに子どもを預けたいが、様々な条件があり、子どもを預けることができないので、仕事ができせん。」「祖父母がいても希望者が利用できるようにしてほしいと思います。」という要望がありました。

放課後児童クラブとは、保護者が共働きなどで日中不在の小学生を、放課後や学校休業日に預かり、遊びや生活の場を提供して健全な育成を図る施設です。放課後児童クラブを利用できない場合、保護者が仕事を切り上げて対応したり、離職せざるをえない女性もいます。女性の社会進出を促進するためには、「放課後児童クラブで子どもを見てほしい」との声に応える環境

整備が必要と考えますが、行政の認識を伺う。



東地区放課後児童クラブ（旧菅浜小学校）

### 教育長

本町でもこの放課後児童クラブの運営について、要望があることは承知しております。できるだけその要望に応えたいと考えてはおりますが、一方でその要望、祖父母を保護者の要件から除外した場合、あらたにどのくらいの新規の児童の受け入れ要望が発生するか、把握する必要があると考えています。

本町では、限りある人的・物的資源の中、保護者の方のご理解とご協力のもと、制度を運営している状況です。

### 教育総務課長

放課後児童クラブは、児童福祉法に基づき町が設置するもので、運営にあたりましては、児童数や施設面積、職員の配置数など省令等により基準が定められています。町では、この基準に基づいて、児童の安全が確保できることを前提に可能な範囲で児童を受け入れています。

その上で、利用に際しましては、祖父母などがおり、児童の見守りが可能な場合には、より必要性の高い児童を優先するため、家庭での見守りにご理解とご協力をお願いしているところです。



### 問

文部科学省は、特に学校は、児童が郊外に移動せずに、放課後を安全に過ごせる場所であることから、余裕教室の有効活用を推進しています。美浜町では学校施設で、そのまま放課後に子どもを受け入れる体制は作れないのでしょうか伺う。

### 教育総務課長

本町でも、学校の空き教室を活用して放課後児童クラブを実施した経緯があります。現在は、特別支援学級や個別指導室、相談室などの需要が高まり、余裕教室の確保が難しいことから、学校併設の旧幼稚園や公民館を活用しています。学校施設を活用するためには学校側と意見交換を行うなどし、状況把握に努めたいと考えております。

## ② 若年層の転出対策と若者の定着

### 問

全国的に少子化、高齢化、人口減少が深刻化する中、本町においても、高校卒業後の進学や、就職を契機に、都市部へ転する若者

が多いという現実があり、進学や就職のために、一度転出した若者の多くが、都市部に定着して「Ｕターン」や「地元回帰」に至っていません。本町においても、若者層が流出している要因について、どのように認識されているのか、見解を伺う。

### まちづくり推進課長

若年層の「アンケート調査」によると、転出者の多くが、そのきっかけを「進学や就職」「結婚」と回答し、本町が住みにくかった要因に「就労環境や買い物環境」「道路や交通機関」を挙げています。

現在、町を舞台に、次代を担う子どもや若者が、学びと挑戦を育む「みはまシナプスプロジェクト」を進めています。本プロジェクトでは起業に向けた挑戦を支援するイベント開催などを通じて若年層の流出を抑制すると共に、若者や女性に選ばれるまちづくりを進めたいと考える。



# 一般質問

一般質問はMMネットの行政チャンネルで翌日の午後8時、翌々日は午後1時から放送されています。

9月定例会では3人の議員が一般質問に立ち、町行政のあり方について、問いいただきました。



かね だ かず お 議員 兼田 和雄

## ① 災害時の初動と対応、被災者救援の計画について

**問** 災害発生時に町は対策本部を立ち上げるわけだが、24時間体制でいつでも対応出来る人員は何か。

**町長** 来るべき災害に備え防災技術統括官を中心に各課横断連携で防災減災対策に取り組んでいる。

**防災技術統括幹** 町のエネルギー政策課内に防災業務経験のある15名で組織する「危機管理対策室」を設置しており緊急時等に各課から集結し、夜間や休日にも対応している。

**意見** 災害が発生していない状況でも住民の自主避難に依りて指定避難所を開設することも重要である。

**問** 常日頃、どのような防災訓練を行っているのか。

**防災技術統括幹** 災害復旧事業を見据えた被害調査や罹災証明の発行などの実務研修や、職員の招集訓練、図上訓練、シナリオ

災害は必ず来るものと認識し常に備えをしておかねばならぬもの。災害後の初動と救援計画は行政がかかわる最も大事なことである。

を伏せたブラインド訓練などに取り組んでいる。また、通信手段として衛星電話を14台、IP無線機を37台等、整備し町のイベント時に活用するなり平時より操作の習熟を行っている。

**問** 災害後の民間のボランティアの受け入れ体制は出来ているのか。

**健康福祉課長** 美浜町地域防災計画にて策定済みで美浜町社会福祉協議会と県が連携協力して受け入れる。運営マニュアルも策定済みである。

**意見** 全国から善意の人達が駆けつけ、復興に力を貸してくれるだけではなく、美浜町との関係人口も増やすことが出来るので受け入れは大きな意味を持つ。

## ② ハザードマップの改訂について

**問** 現在「津波ハザードマップ」と「洪水・土砂災害ハザードマップ」が町内に配布されているが、土石流ゾーンや急傾斜地ゾーン、浸水実績のあるエリア、早期立ち退きが必要な区域等、一枚のマップに重なり合って表示さ



れている。文字も小さく非常に見にくい。これを1冊の中とじ本にできないのか。そうすれば1冊ですべてを網羅できる。

**土木建築課長** 現時点では更新の計画はないが、改訂の際は見やすいハザードマップの制作に努める。

**問** 河川の氾濫予知や避難基準はどうなっているのか。

**防災技術統括幹** 1時間の雨量でははかりきれない状況があると思うが。耳川には「水防団待機水位」「氾濫注意水位」「避難判断水位」「氾濫危険水位」を設置している。ほか8カ所に水位観測施設を設け「危険水位」を設定している。水位情報は町の防災アプリから誰でも確認できる。

## ③ 避難所は「スフィア基準」を満たしているのか

**問** 避難所が備える最低限の国際基準「スフィア基準」があり、この基準に沿った設備は出来ているのか。

**エネルギー政策課長** 町では約600人を1つの基準にして指定避難所を13カ所想定しており、1人あたり3.5㎡の生活空間スペースは確保できている。トイレに関しては避難所のトイレの他、組み立て設置のトイレを32台、その他、袋に入った薬品処理のトイレを約400回分備蓄している。その他にも多機能トイレを備えた移動式トイレトラックの整備も進めている。

**問** 避難所の食事提供について、避難食だけではなく地元業者さんとの連携はとれているのか。

**産業政策課長** 町内では美浜町料理飲食店組合または美方菓子組合美浜支部と食料の提供を目的とした物資供給体制の協定を締結している。さらに広域体制として福井県農業協同組合等とも締結し、他にも同じ美

浜町つながりで愛知県、和歌山県、三重県の3町、ボート競技会加盟31市町村、原子力立地加盟28市町村などで総合応援協力の協定を締結している。

**問** 災害時には生活用水も非常に重要な問題だが、給水は確保できるのか。また復旧対策は万全に出来ているのか。

**上下水道課長** 配水池では震度5以上の地震では自動で送水を止める緊急遮断弁を設置しており、水道管も耐震化率58%と県や国の4割に比べ高い水準にある。たとえ損傷しても町内6社で組織している美浜町管工事組合と協定を結び優先的に修理作業を行う。断水が発生した場合は備蓄の保存水や給水車での供給を始め関係団体から支援を受ける体制になっている。自力で応急処置が出来ない場合でも日本水道協会と「災害時相互応援に関する協定」を締結し、全国の自治体から応急給水活動、応急復旧活動や技術的支援を受ける体制はできている。

**意見** 備えがあり、広域的な支援の輪があることを知るのが町民にとっては大事なことである。避難所生活をいつまで我慢すればいいのかわかるだけの心づきになる。町民への周知を願いたい。



こうもと たけし 議員  
河本 猛

## ① 美浜町は、紙オムツ などの定額利用 サービスを 導入すべきだ！

**答** まずは保護者や保育現場の状況把握に努めたい。

### 問

保育園の紙オムツとおしりふきのサブスクリプション（定額利用サービス）は、保護者が月額利用料を支払うことで民間事業者が紙おむつとおしりふきを保育園に直接届け、保護者が園児の名前を記載したオムツやおしりふきを持参する必要がなくなるというものである。

保護者の登園準備の負担を軽減することにつながるだけではなく、保育園でも保育士

がオムツなどを園児ごとに分けて管理するという手間が省ける。県内では、あわら市や南越前町、敦賀市が導入している。

子育て政策、保護者や保育士の負担軽減を考えると、美浜町は、紙オムツとおしりふきなどのサブスクリプション定額利用サービスを導入すべきだと考えるが、町の考えを伺う。



### こども 未来課長

これまで町が実施した子育てアンケート調査では、保護者から「保育サービスの充実」を求める

声が多い。

町としても子育て支援の充実が重要課題というふうに捉えており、保育園における保護者の負担軽減や保育士の業務効率の向上を図るために

様々な取り組みを進めているところである。具体的には、オムツ持ち帰り0サービスであるとか、保育支援システムアプリ等のICTの活用を導入し、さらに今年度からは、給食の米飯提供を開始したほか、町が負担する形で、おしり拭きやお口拭きシートの提供体制なども整えている。

紙オムツのサブスクリプションサービスの導入については、まず保護者や保育現場の声や他市町の現状などについて、状況把握に努めたいと考えている。

### 問

美浜町の子育て政策をより充実させていく

ためにも、保護者との話し合いは必然。美浜町は保護者と

の話し合いをどのように進めていくのか考えを伺う。

### こども 未来課長

保育支援アプリを活用したアンケート調査を実施したいと考えて

いる。アンケートでは、保護者それぞれの紙オムツに関わる費用負担額、購入頻度、サービスを必要とされている方の割合、さらに導入によって、保育園での管理が簡略化されるのか否か、日常業務の効率化が図れるかなどの調査を行って、課題やニーズを十分に把握したいと考えている。



みずうみ保育園

### 意見

定額利用の部分でいえば、保護者負担を軽減するために、町が補助して定額利用料を軽減していくこともできる。

隣の敦賀市よりも美浜町の子育て政策が劣っていたら、ゆくゆくは定住環境にも影響が出てくる。美浜町には、町民が行政に魅力を感じるような政策を打ち出してほしい。

まずは町民ファーストの政策が重要だと思う。住民サービスの充実に向けた取り組みとして、保護者との話し合いを進め、ぜひ実現してもらいたいと強く申し上げる。



# 第38回 つばたレガッタ 2連覇達成!!



令和7年8月24日(日)、第38回つばたレガッタが開催され、美浜町議会も1クルーが参加しました。

8月6日から石川県内に降り続いた大雨災害を乗り越えての大会開催ということもあり、近隣県市町から66クルーが集まり大会を盛り上げました。

津幡町議会や石川県内の市町議会とは、ローイング競技を通じて長年にわたる交流があり、能登半島地震の復興支援、スポーツによる交流人口の拡大、議会運営などの取り組みを学ぶ繋がりができています。津幡町議会も毎年、美浜町民レガッタに参加して大会を盛り上げてくれます。

今回のつばたレガッタ(議会議員の部)では、美浜町議会国古城クルーが大会2連覇を果たしました。

## 美 浜 中 体 育 祭

## 風にも負けず盛り上がる!!

9月20日(土)、美浜中の体育祭。昨年と今年の猛暑とは打って変わって涼しかったのですが、風がとても強くグラウンドの土が舞い上がる大会となりました。今年も青組と赤組の2チームで優勝を争い、プログラムは異例の応援合戦から始まり大変盛り上がりました。競技は、リレーや綱引きもあり、午前中で終わり学校祭のフィナーレを飾る楽しい体育祭となりました。



### 編集後記

最高気温が30度以上の日を真夏日といい、35度以上を猛暑日といいます。夏とは6月から8月を指しますが、今年は9月になっても真夏日続きでした。気象庁は来年から、最高気温が40度以上の日を酷暑日と呼ぶということです。命が危うい気温ですが、日本の四季はどこへ行ったのだろうかと思えます。

10月初旬の季語をAで調べると、秋分・清秋・秋晴・秋冷などが出てきます。この議会だよりが発行される時分には「清秋の候」であってほしいと願っています。

皆さん、暑さや寒さに負けず健康に留意して過ごしましょう。

(高橋 記)

### 美浜町議会広報特別委員会

【委員長】 辻井 雅之

【副委員長】 幸丈 佑馬

【委員】 藤本 悟・松下 照幸

高橋 修・上道 正二

兼田 和雄